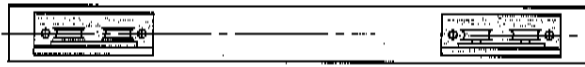


▶ 以下の説明は、SCF形フラットバー取付形の場合を示します。SCA形もこれに準じてください。◀

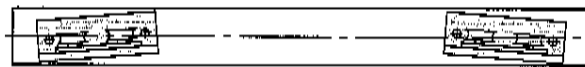
A.取付前の注意

- (1) 取付図に基づいて無目枠のレール取付裏板 タップ穴をあけておいてください。
(レールを仮付けし写し穴をする方法もあります)
- (2) ドア上面にドアハンガー取付用タップ穴 (M8、4箇所) をあけておいてください。(取付穴はドアの中心線に並ぶよう注意してあけてください)

良い例



悪い例



- (3) 枠、ドアのねじれを修正しておいてください。
- (4) 下部ガイドレールの掃除をしておいてください。

B.取付順序

1. レールを無目枠内の裏板にM6ナベ小ネジで取付けます。

- ・THUスライドクローザはレールに全ての部品が組付けられた状態で納入しますので、このままで取付けてください。
- ・レールのコロ回転面には傷を付けないよう、またレールが水平に取付くよう注意してください。

2. ドアの吊り込みと調整

(1) ドアの吊り込み

- ・ハンガーよりワイヤ・チェンブラケットをはずします。(図1)
- ・次にハンガーよりブラケットをはずし、ドアに取付けます。(付属のM8×25ボルト座金を使用)
- ・コロつき板は、ネジ穴が上になるようにレール内に入った状態でドアを吊り込みます。(図2)

(2) ドアと枠のスキマ調整

- ・ドアと枠のスキマはハンガーブラケットの取付長穴で調整します。(図3)
- ・方立(戸当り)とドアのスキマ、引分けの場合はドアとドアのスキマおよび高さをハンガーブラケットとコロつき板の取付長穴で調整します。
- ・調整が終了したら手でドアを動かして、軽く動くかチェックしてください。目安として軽くドアを閉めてハネ返ってくる程度であれば結構です。

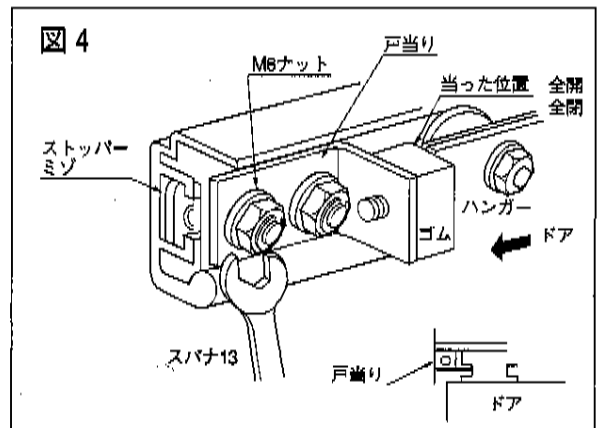
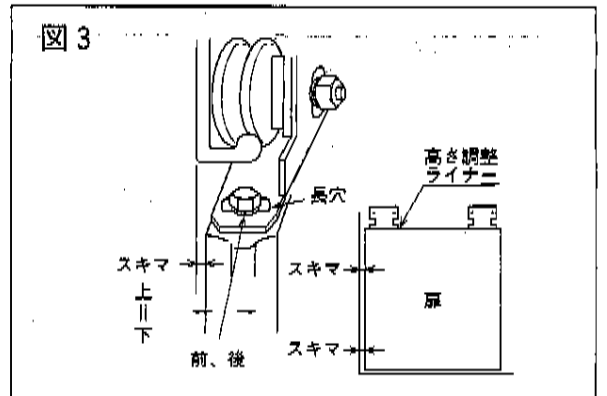
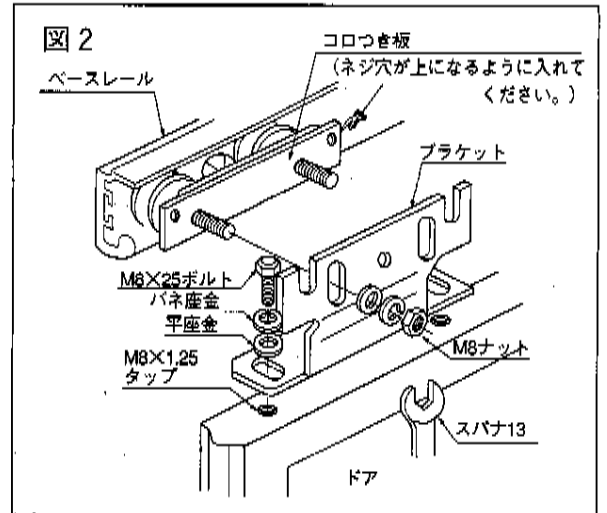
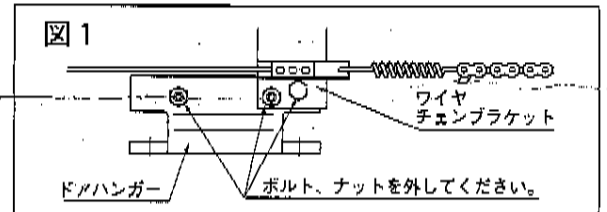
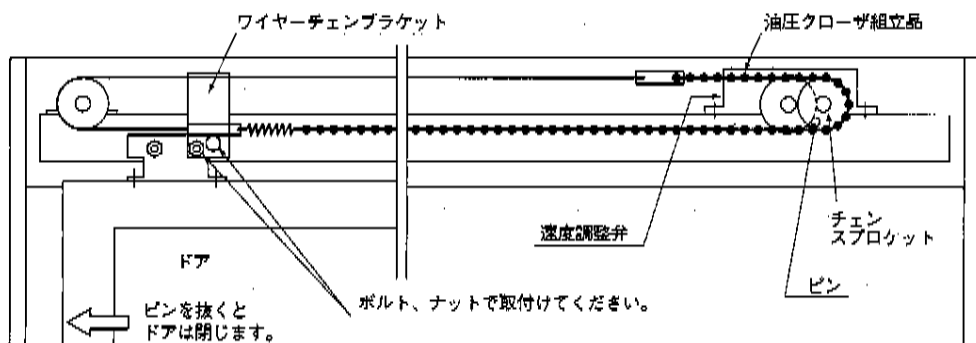
(3) 戸当り調整と固定

閉じ側が方立の場合(引分けはドアとドア)は開き側のみ調整します。ドアを全開位置にして、戸当りのナットをゆるめて動かしてください。(図4)

⚠ ナットをゆるめるのは2回転までとしてください。

3. ワイヤーチェンとドアハンガーの連結

- ・ドアを動かして、ドアハンガーとドア吊り込み時、外しておいたワイヤーチェンブラケットの位置を合わせ、両者を再び連結してください。
- ・チェンブロッケットに差し込んであるピンを抜き取ってください。
(チェンブロッケットはあらかじめ、ひねってセットしてありますので、ワイヤーチェンは閉じ側に動き、ドアは全閉します)
- ・これで取付けは完了です。

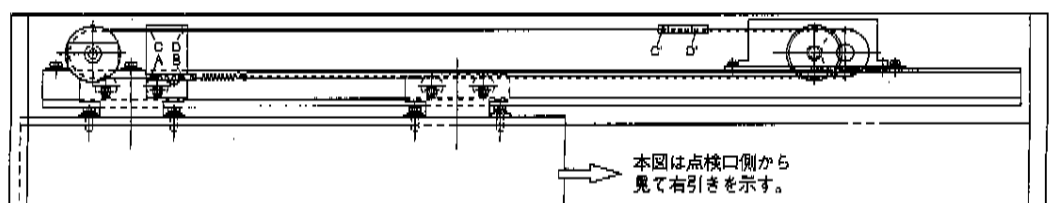


■ 以上は右引きの要領を説明しましたが、左引きのときは下記に勝手変更の要領を説明してありますから参照してください。

左引き用にするには

本図は右引き用を示しています。左引き用にするには次の要領で行ってください。

1. ワイヤ・チェン取付板(図示、左側)のビスA、B(ディスタンスピース共)を取り外してください。
2. ドアを右閉じ位置にしてください。
3. ワイヤ・チェンブラケットのネジ穴C、Dに図示右側のワイヤ・チェン取付板を穴C、Dを使用し、外しておいたビス、ディスタンスピースで取付けてください。
4. 以上の作業によって左引き用となります。



裏面へ続く

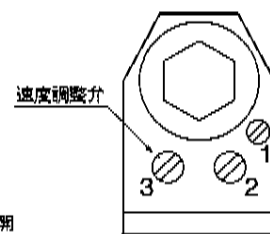
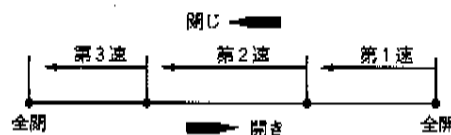
4. 閉じ速度の調整

・油圧クローザ本体の速度調整弁をそれぞれ右に廻せば速度は遅く、左に廻せば速くなります。

・1. 2. 3. の番号は次の調整区間を示しています。

- 1. ……第1速 (ディレード区間) 全開～閉口700mm
- 2. ……第2速 (通常区間) 閉口700～250mm
- 3. ……第3速 (クッション区間) 閉口250mm～全閉

※第1、第2、第3速はそれぞれ2～10秒に調整可能です。



マイナスドライバーで調整してください。



5. トラブルに際して

右表に従い処理してください。

トラブル項目	原因	処理方法
ドアが動かない	ハンガーコロが脱輪している	ドアを正しく吊り直す
	チェンスプリングが外れている	チェンスプリングを取付ける
ドアが閉じきらない	下部レールにゴミ等がある	下部レールを掃除する
	チェンスプリングが伸びている	チェンスプリングを交換する
	ワイヤがゆるんでいる	ワイヤを正しく張る
	クッションがききすぎる	3速弁を少しゆるめる
ドアが「ガタ」つく	扉吊りボルトがゆるんでいる	ボルトを締め付ける
ドアが「スムーズ」に閉じない	1、2、3速の速度調整がまずい	1、2、3速の順に調整する

25
40

THU スライドクローザの取扱上の注意事項

取付をされる業者の皆様へ

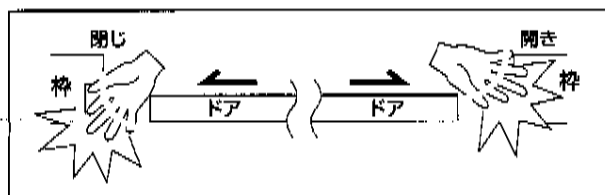
本書はお施主様、ご入居者様へ必ずお渡してください。
取付に関しては別紙(取付説明書)を参照してください。

このたびはスライドクローザをお買い上げいただきましてありがとうございました。
この製品は、ドアを自動的に閉じる機器です。スライドクローザを正しくご使用いただくために本書をよくお読みください。
お読みになった後は、本書をなくさないように保管してください。

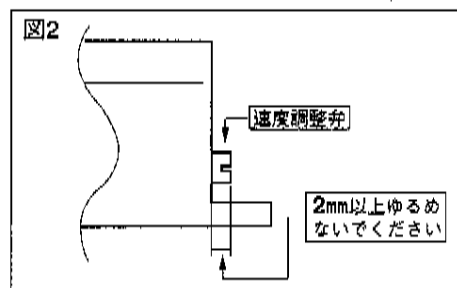
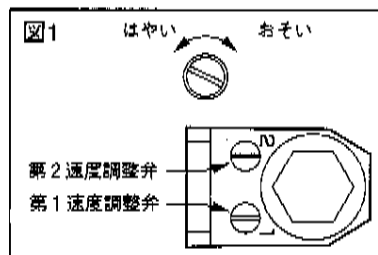
危険防止のために

注意1 ●ドアと枠の間に手等を不用意に置かないでください。

・開閉時のドアに、はさまれてケガをする恐れがあります。



注意2 ●ドアを閉じる速度は、速度調整弁の調整で変更することができます。ただし標準速度(6～10秒)を守ってください。



・左へ回しすぎると閉じる速度が速くなり、出入口を通行中、閉じてくるドアに当たって転倒したり、ケガをする恐れがあります。

・さらに左へ回して図2の様に調整弁が約2mm以上出ると抜け落ちて本体内部の油が噴き出し、目に入ったり、衣服や壁および床を汚す恐れがあります。

注意3 ●油圧クローザ内部の作動油を抜いたり、注入したりしないでください。

・スライドクローザの故障の原因となったり、ドアの閉じる速度のコントロール不良によるケガや油が漏れて、ドアや床を汚す恐れがあります。

注意4 ●スライドクローザの分解や改造はしないでください。

・部品が飛び出してケガをしたり、油が噴き出して目に入ったりする恐れがあります。

注意5 ●ドア付近には美術品や工芸品等を置かないでください。

・突風等でドアの急開閉による衝撃で損傷する恐れがあります。

その他ご留意いただきたいこと

- 環境条件等でご使用中に閉じる速度が速く(3秒以下)なったり、遅くなったときは標準速度に調整しなおしてください。
- ドアやドアハンガーにぶら下がったり、物品を吊り下げないでください。手をはさまれてケガをする恐れがあります。また物品が落下して破損する恐れがあります。
- 保護者の方はドア付近は危険ですからお子様を遊ばせたり、身体のご不自由な方やお年寄りが立ち止まっていたりしないように、安全な場所へ誘導してあげてください。
- その他、以下のようなことがありましたら放置しておくとは事故につながりますので、速やかに建物管理者、建築施工業者又は、下記へ修理の依頼をしてください。
 - 1) 油圧クローザから油がにじみ出たり、しずくがたれている場合。
 - 2) ドアの閉じる、速度調整弁を締めても(右に回す)速度が遅くならない場合。
 - 3) ハンガーコロが摩耗しドアがガタついている場合。
 - 4) ベースレール、ドアハンガーの取付ボルトがゆるんでいる場合。
 - 5) ワイヤー、チェンの取付ビスがゆるみ、垂れ下がっている場合。

永くご使用していただくために

1. ドアや取手の取付ネジにゆるみが出ていないか、時々点検してください。ゆるんでいる場合は、締め直してください。
2. 腐食予防のために、時々乾いた布でカラ拭きしてください。特に冬期に結露が生じる場合では頻繁にカラ拭きしてください。
3. ドアがゆがんだり、吊り下がったりしてスムーズに作動しなくなった場合は、建物管理者又は建築施工業者に修理依頼をしてください。

◎お客様問い合わせ及び修理依頼先◎

THU ハシダ技研工業株式会社
HASHIDA

本社 〒547-0001 大阪市平野区加美北6丁目15番14号
営業部 TEL(06)6791-7000(代) FAX(06)6792-2311
名阪工場 〒632-0101 奈良県奈良市下深川町108番地
オードア事業部 TEL(0743)84-0031(代) FAX(0743)84-0035